

ももだより



平成 25 年 12 月

園長先生より

中沢幼稚園PTA



音楽会には大勢の皆様にお越しいただき、誠にありがとうございました。

子ども達、それぞれの年齢、発達の姿が見られたのではないのでしょうか。3～5才児、集中できる時間も意識も異なります。大まかに言いますと、3才児：みんなで一緒に楽しいね、怖くないんだよ、お客様が来て嬉しいね 4才児：こんなことも出来るね、チャレンジするって面白いね 5才児：自分が出来ることをしっかりやろう、また全体の中で何に気を配ればいいのか、よくするにはどうしたらいいか、を大切にしています。

11月はことり組の電車遠足がありました。JR東海道で菊川下車それから市バスを乗り継いで皆様よくご存じの菓匠「たこまん」工場の見学です。徹底した衛生管理の下で大砂丘や茶フリアンが作られていく様子に興味津々。沢山の人が関わって、沢山の工程を経て初めて店舗に商品として並ぶこと、一連の流れを実際に見て感じるものがあつたようです。

たこまん工場の後は駅近くの高台にある公園で昼食をとり、ひとしきり遊びました。秋空に富士山がくっきり浮かび上がり「オレー一番に見つけた!!」と大騒ぎ。斜面を利用した長い滑り台がありますが、子どもの関心はむしろ自然たつぷりな斜面の方が魅力的だったようです。栗、椎、団栗等の木の实から大きな枝、はては誰かが落としていったビービー弾まで。夢中になって走り回って集めます。急な斜面を、繰り返し登ったり、下りたり、到底大人には真似が出来ない、子どもならではのエネルギーに満ち満ちていました。

昔の公園によくあつた懐かしい縦式ブランコがありました。ブランコに5～6人乗れるようにそれぞれ馬の頭が付いてそこに跨って漕ぎます。A君が「出発しま～す！早く乗ってください～い！」友達に声を掛け、皆が座ったところで大きく漕いでブランコが揺れてから先頭に飛び乗ります。スリルはあるけれども乗れる速さを自分なりに調節しているのです。また「到着しました～」と飛び降りて遊具を抑えてじっとこらえて失速するのを待ちます。“A君、中々やるな！”と思いつつ私自身もお客さんを楽しませてもらっていました。何度か繰り返すうちお客さんは次々に替わり、ある時B君が先頭に乗ろうとしました。「先頭は空いていないよ！」と必至なA君。“わかるな、その気持ち”。ところが、一寸の間をおいてなんと「先頭もいいよ、すごく面白いよ！」と言ったのです。そして今まで自分が夢中になっていた役割を譲ってあげたのです。胸に響きました。去年何かあれば涙ぐんでしまったA君が他の子ども達を遊びに誘いこみ、自分の実力にチャレンジし、さらに自分の気持ちをこらえて友達と協調するまでに成長しているのです。

子どもは遊ぶ中でそうとは意識せずに自分なりの課題に取り組み、十分に取組んだ後は次の段階に進んでいきます。日々真剣です。そんな子ども達が帰る家、あたたかいご飯、あたたかいお風呂、あたたかい抱っこ、あたたかいお布団。幸せな気持ちで過ごせますように。

2013年も残すところあとわずか

どうぞ、ご家族で楽しい冬休みを

そしてよいお年をお迎えください

